

# チ ム 音 戸

音戸中学校区  
小中一貫教育推進協議会

## 令和3年度 音戸中学校区小中一貫教育について

- 【目指す児童生徒像】 ふるさとを愛し、自律できる児童生徒の育成  
【研究主題】 主体的に学ぶ児童生徒の育成  
～「育成すべき資質・能力」の向上をめざした単元づくり・授業づくりを通して～

コロナウィルス感染拡大防止のため、1学期は、小中学校で一同に会しての交流行事を行うことができませんでした。そのため、今は、音戸中学校・音戸小学校・波多見小学校の各校で主体的に学ぶ児童生徒の育成を目指した研究を進めています。

小中一貫教育だより第1号は波多見小学校での研究を紹介します。

波多見小学校では、児童にタブレットを持たせた授業を行うことで「思考表現する力」を育てています。昨年度は、タブレット使って友達の考えを見せ合うことで、考えを広げることができました。今年度は、思考を深めるためのタブレットの活用法を研修していきます。1学期は、6年生の校内授業研究会を開催し、どのような活用が効果的であるかを話し合いました。

### 6月29日(水) 校内授業研究会 6年 算数科「資料の調べ方」

平均値、中間値などの様々な観点からデータを見て、グラフや表に表したり、それを活用したりする学習を行いました。児童が興味を持って学習できるように、2種類のくじを準備し、どちらが有利かを考えさせました。

児童達は、自分の考えに説得力を持たせるために、数種類の資料を準備し、タブレットにまとめました。



自分とちがう考えの友達に分かってもらうために、より説得力のある資料にする姿、相手に分かるように表現しようとする姿が見られました。

さらに、「どちらを選ぶか迷うくじにするために、何点のくじを加えれば良いか。」といった新たなし課題を与えることで、子ども達はさらに考えを深めていきました。

今後も、学習に必要感を持たせ、より深く思考する力を高めるための学習の在り方を研修していきたいと思えます。

